

## 2024.02.04. 人生に対する3つの脅威

### ユダの手紙1章5節から7節

#### JD ファラグ牧師

一緒に祈りませんか？ 主よ、本当にありがとうございます。あなたの慈しみは時に人々に表現できません。ですから主よ、ありがとうございます。私たちはそれに値しませんが、あなたは大変寛大で、慈悲深くあられることに感謝します。主よ、今朝私たちの前にあるこの3節の御言葉で私たちに語ってくださいますか？ 今朝、私たちの心と魂を静め、思いを研ぎ澄まし、あなたに引き寄せてくださいますように。イエスの御名によって、アーメン。アーメン、アーメン。

おはようございます。ようこそ。ご着席ください。ありがとうございます。来てくださり大変嬉しいです。オンラインの皆さんも参加くださり大変嬉しいです。始める前にいくつかあります。まずは、昨日のテレサの追悼式で、忠実かつ精力的に奉仕された皆さん全員に本当に感謝したいと思います。参加された何百人もの人々に皆さんが示した愛ともてなしは、彼女の人生を本当に称え、さらに重要なことは、神のご栄光を讃えました。それは主にご栄光をもたらし、神はそれを尊重くださり、祝福されました。私が皆さんに知っていただきたいのは、この貴重な、でも傷ついている人々にイエスを届けるため、大きな役割を担ったこと。その証であるのは言うまでもなく、これが地域と島々のためであること。SNS上で、コメントがたくさん寄せられており、ユーチューブで公開の彼女の追悼式の動画は、そのプラットフォームだけで、今朝すでに19,000回再生されています。普段はチェックしないんですが、ちょっと、、、数字は問題ではないからです。が、数字です。それって、、、一（笑）一 何が起きているのか、私が感謝したいのは、神はこの機会、神の教会とご自分の民、私たちを用いられ、これらの人々に手を差し伸べ、イエスを届けられました。今、それゆえに多くの方が、イエス・キリストのもとに辿り着いているという良い報告を聞いています。はい。一拍手喝采一 神だけが、その全てのご栄光をお受けになります。本当にありがとうございます。多くの人にとって長い一日だったと思います。そして、今日は私から離れられません。2日連続です。あなたは天に大きな宝を積んでいます。深刻な話ですが、どうか祈り続けて下さい。これは想像を絶する悲劇だったからです。悪の謀らいでした。しかし神は、神だけがおできになるように、それを益とされます。（創世記 50：20参照）でも私たちは、この先、主が多くの人々に救いをもたらされるよう祈り続ける必要があります。昨日、この主の教会で私たちがしたことゆえに。どうか祈り続けてください。祈りと言えば、今度の火曜日、2月6日午後7時から、ここ礼拝堂で、祈り会をします。カレンダーに印をつけ、是非ご参加ください。簡略に（←有名な最後のセリフ）メッセージをします。「簡略」という言葉は私の言葉にはないはずですが、とにかく使います。使わせてください。簡略的なメッセージとは、私たちの人生での試練の時、短い3語の祈りに、神は答えられるだけでなく、もっと大きな試練から私たちを守られるために、人生での様々な試練を許す必要があると神がご判断されることについて。それが火曜の夜で、それから始めます。その後、ここで再度あのセリフですが、「簡略」に、多くの方が尋ねられる妻に関しての祈りの最新情報をお伝えします。ところで、彼女のために祈ってくださっている方々に感謝します。私たちにとって、大変貴重で、皆さんの愛と祈りに圧倒され、想像を絶します。本当にありがとうございます。そして、私たちの牧師たちに上がってもらい、スタッフにも上がってもらい、また、特定のニーズについて祈ります。その後、時間の許す限り、教会全体でとりなしの祈りを、人々から送られる祈りのリクエストのために祈ります。それが火曜日の夜7時です。では、「ユダの手紙」です。さあ、これに注目！ この書簡/はがきを始めた時、私たちは1節から始めて、1節をずっと学びました。そして2週目は、2節を取り上げ、2節をず〜っと味わいました。先週はギリギリのところ、私たちは3節と4節の2節を学びました。そう、今日学ぶことは、まったく新しいレベルです。私たちは3節を学びます。3節を学びますよっ！！それが私の導入でした。準備はいいですか？ 可能であれば、ご起立いただき、ご無理なら、座ったままでも結構です。今日の箇所、長〜い3節すべてを読みましょう。5節から、聖霊によってユダが書きます。

#### 一ユダ 1 : 5 一

あなたがたはすべてのことをよく知っていますが、思い起こしてほしいのです。イエスは民をエジプトの地から救い出しましたが、その後、信じなかつた者たちを滅ぼされました。

— ユダ 1 : 6 —

またイエスは、自分の領分を守らずに自分のいるべき所を捨てた御使いたちを、大いなる日のさばきのために、永遠の鎖につないで暗闇の下に閉じ込められました。

— ユダ 1 : 7 —

その御使いたちと同じように、ソドムやゴモラ、および周辺の町々も、淫行にふけて不自然な肉欲を追い求めたため、永遠の火の刑罰を受けて見せしめにされています。

祈りましょう。特にこの後は。天のお父様、どうかこの時、あなたがいつも忠実であられるように、私たちを静め、集中させてくださいますように。そうすれば、あなたの御言葉の中で、御言葉を通して、あなたが私たちの人生に語られる時、私たちはあなたに全身全霊を傾けることができます。特に、今日私たちの前にある箇所において。今日、私たちが切に必要なのは、聖霊が私たちの教師となられ、私たちをすべての真理へと教え導かれ、私たちの前のこの箇所において、私たちのためにご用意されていることを示してください。ですから主よ、すべての邪魔を遠ざけてください。私たちの気が散らないように、注意を保ってください。そうすればあなたに全集中します。そして、私たちがそうする時、語ってくださいますか？ あなたのしもべたちは聞いています。主よ、ありがとうございます。イエスの御名によって、アーメン、アーメン。

ご着席ください。ありがとうございます。で、今日、あなたと私の人生に対する『3つの具体的な脅威』について話す必要があります。悲しいことに、大半のクリスチャンはほとんどの場合、気づきません。そのことに気づかないまま、不必要な苦しみという想像を絶する結果をもたらし、私たちが自らその結果を招くからです。言い換えれば、神の御言葉と私たちを守られたいという神の愛の警告に、私たちが耳を傾けていれば、すべては回避され、避けられたかもしれません。それが今日の箇所です。聖霊に導かれたユダが、これら3つの具体例を引き出します。興味深いのは、ユダが選び得る全ての例のうちこの3つを選んだこと。ユダがこの3つを選んだ理由をこれから見ていきます。3つの例は、多くを語ります。これほどまでに例として示される旧約聖書からの深刻な警告です。理由は、先週の話覚えていますね。ユダは、私たち皆に共通する救いについての手紙を大変興奮して書き始めました。神はユダを方向転換させられ、聖霊によって導かれ、当時の教会への非常に深刻な脅威となる警告について、大変深刻な手紙を書かせられました。ですから、そういう理由があってこの手紙があり、それは本当に警告であり、私たちが警告されている深刻な脅威です。このような脅威は、盗み、殺し、滅ぼす性質があるだけでなく、私たちに対するそれらの恐ろしい脅威を事前に知らせる警告灯でもあります。よろしければ、描写します。よくご存知ですね。車は警告灯が点灯すると、何か変です。これはあなたの自動車の運転に脅威をもたらします。それでどうしますか？ それに注意を払うのか、それとも電気工事用テープを貼るのか？ 少し時間を差しあげます。まだ説教の始めですけど。言い換えれば、警告！警告！警告！ もちろん、私は敬虔で、謙虚な牧師ですから、私自身のことを話します。再度、チームのために犠牲になります。そのエンジン警告灯は「神のものではないね。」—

(笑) — 私たちの車のダッシュボードには、エンジン警告灯よりももっとひどい警告灯があります。新しい車には何があるかご存知ですか？ 私は新しい車を運転していませんけど、ずっと前からあります。タイヤ空気圧低下警告灯です。誰が考えたんですか？ 誰が考えた？ 誰が良い考えだと思ったんですか？ 警告！警告！ あなたの車のタイヤの空気圧が1平方インチ辺り約2ポンド低下しています。

「直ちに車を停車させ、運転を停止させてください。危険！危険！危険！」何をしますか？ あなたはタイヤを見ても、問題なく見えます。私は忙しんだから。遅れる。いつも遅れる。私の前にはいつも遅い車が走っていて、私が遅れていることに気づいていません。「私が遅れているのがわからないんですか？」なぜ運転中に、、、いいえ、、、それは、、、ごめんなさい。ホントじゃないけど。私が話すことがズバリわかりますね。ですから、そんなふうには顔で私を見ないでください。OK？ 彼らは、、、彼らは知っているみたいです。「おお、彼は急いでいるんだ。」なのに、制限速度を時速10マイルも下回って運転します。昨日、アーティにこう聞くと、「スピードが遅すぎて人を停めたことがありますか？」アーティが、「実際、ありません。」私は、「けど、そういうことってない？」アーティは、「はい、あります。」私は、「その時、なぜ彼らを止めなかったの？」— (笑) —

ともかく、ごめんなさい。情報が多すぎましたか？ 大丈夫ですか？ アーティが出ていったら、それが理

由です。実は、これで話の向かう先があります。一見、意味がないような、取るに足らないようなこと。OK。だから何？ タイヤの空気圧が1平方インチあたり2ポンド下がっているって、後で対処するよ。そして後になり、タイヤはパンクしました。時間がなくて空気を入れに行かなかったから。なんという苛立ち。警告灯を見ると、その警告灯が自分を見ているようです。こんな風に、「もしもし、タイヤの空気圧が下がっていますよ～。何かする必要がありますよ～。」それで電気工事用テープの出番です。「今すぐ、ここでお前を黙らせるぞ。すぐに取りかかる。」この描写の美しさがあります。そのような深遠な方法でまとめます。私たちは、神の御言葉のタイヤ空気圧低下警告灯にそれをする。私たちは、大したことではない、取るに足らないという名目でその警告を退けます。「はい、はい、はい。そのうちね。そのうちするから。」「いえ、いえ、いえ、いえ、いえ。今、対処してください。」「うん、でも1平方インチあたり2、3ポンドだし。」「それが問題なのです。」ちなみに、それがあなたの命に危険をもたらす状況にもなり得ます。もしタイヤがパンクして、高速で走行していたら……。私は絶対しませんよ。ちなみに、いつも制限速度内で走っています。きっとね。高速で角を曲がるときにパンクしたら、命を落としかねません。あの少しイライラする、鬱陶しい、苛立だしい、腹立だしい、タイヤ空気圧低下警告灯について、今はどう考えますか？ 今からそれを何とかしに行きます。この時、頭を下げ、目を閉じますから、皆さん出ていってタイヤに空気を入れに行ってください。これがユダの語っていること。彼は警告灯を点灯させています。警告！「これを無視しないでください！ 点滅させておかないでください！ 対処してください。ここで危機に瀕しているからです。これは手強い脅威です。あなたはそうのように思っていないでしょうが、そうなんです。」これはあなたを完全に破滅させる可能性があります。それが敵の狙いではありませんか。：「盗んだり、殺したり、滅ぼしたり、...」(ヨハネ 10：10 参照)

で、これらの脅威とは何か？ 3つの脅威を順番に、

1つ目：不信仰。(5節)

2つ目：反逆/反抗。(6節)

3つ目：不道徳。(7節)

私たちがこの3つの脅威を学ぶ時、これらの警告灯が、対処すべきことを事前に警告するため点灯するのを見て、注意する必要があります。最初に警告灯に注意を向けていれば、不必要な苦しみの結果を、無駄に被ることがないのに。

1つ目 (5節)：「不信仰」。

ここでユダは、私たちがすでに知っていることをシンプルに思い出させます。私たちが知っているのを前提として、旧約聖書の「カデシュ・バルネア」という場所で起きたこと。知らない人のために説明します。「カデシュ・バルネア」にいた神の民は、その入り口にいます。つまり、「約束の地」に入る手前です。しかし、彼らは「不信仰」ゆえに拒否しました。かなり劇的な記述です。「民数記」13章と14章だと思えます。また「民数記」です。ご存知、「民数記」です。聖書の中で最も魅力的な書のひとつです。先週もその話をしました。「民数記」16章、コラの記述です。ユダはコラを例に挙げます。「民数記」12章で、モーセの姉のミリアムと兄アロンが、モーセに抵抗します。「民数記6章」は、イスラエルの民の陣営の数が

書かれた数字の章で、22章に入るまでは全く分かりません。それから突然、イスラエルの民の陣営が、十字架の形にはっきりと浮かび上がります。それがバラムが、バラクにいくらお金を貰ってもイスラエルの民に呪いをかけることができなかった理由で、それがイエス・キリストの十字架上の完了された御業の予型、影、預言の描写だったからです。

「(こういうわけで、) **今や、キリスト・イエスにある者が罪に定められることは決してありません。**」

(ローマ 8：1)

呪えません。不可能です。そこでバラムは別の方法を思いつきました。それはうまくいきました。そうでなくてはできませんでした。で、彼は内部からそれをしました。内部犯行でした。ユダはそれらの例を使います。

ここにもう3つの例があります。イスラエルの民の「不信仰」に始まり、「約束の地」を失いました。これがその記述です。私は、ここでその裏話を紹介するのに全力を尽くします。ところで、エジプトから「約束の地」まで、たぶん2週間くらいです。交通渋滞がなかったら。だいたい、そのくらいの時間です。40年？それは景色の良いルートと呼ばれます。それは景色の良いルートじゃなく、それは長年駐車場で交通渋滞だということ。つまり、2週間で行ける場所に、40年もかかりますか？ どうしたのか？ ついに「カデシュ・バルネア」という場所にたどり着き、「約束の地」に入る準備が整いました。12人の偵察隊を送り込むことにし、イスラエルの各12部族からそれぞれ1人ずつ、この地に赴きスポックしました。そう言いますか？ ごめんなさい。言いませんね。その土地を偵察し、チェックし、報告書を持ち帰る。ここが「約束の地」で神が私たちを導いておられる場所であり、神が私たちに与えてくださるからです。あなた方が行って確認したらいかが？ 12部族から1人ずつ選び、行って確認し戻り、それがどんな様子か教えてください。すでに神が語られたので、彼らはそれがどのようなか知っていました。

『乳と蜜の流れる地へ導き上ると言ったのであると。』（出エジプト 3：17参照）

「ところで、ぶどうを持って帰りなさい。そんなぶどう見たことないでしょう。その大きなぶどうとその木を持ち帰りなさい。それを持ち帰るには、あなたの部下全員が必要です。それがわたしがあなたに与える土地です。すべてあなたたちのものです。あなたがせねばならない全ては、わたしがあなたたちに約束した約束を受け入れること。」

で、12人が出発しました。彼らがそこに入ると、そこで何を見つけるか？ 彼らは巨大なアナク人、巨人を見ます。これらはネフィリムの末裔です。第一礼拝で話したばかりです。「創世記」6章、彼らは巨人でした。デカく、巨大な人たちでした。彼らは戻り、12人のうち10人が悪い報告をし、イスラエルの民の陣営全体に恐怖を広めました。彼らはこう言いました。こうです。「方法はないぞ。あいつら、たくさんい過ぎて、めちゃでかくて、私達はバツタみたいに叩き潰される。（民数記 13：33参照）

神から約束された『約束の地』を所有できるわけがない。」ちなみに、私達はその区別をしてください。今からすぐに出てきます。「約束の地」は天国の象徴ではありません。「約束の地」にはまだ戦いがあったからです。天国には戦いはありません。つまり、「約束の地」に入ることは、私たちにとっては、神の約束に入ること。「不信仰」が、神が私たちに約束された約束に入れないよう遠ざけます。ある人は、私たちへの神の御言葉にある3000以上の約束を数えました。それはたくさん約束です。神は約束を破ることはおできなりません。ですから、神が御言葉において、あなたに御言葉を与えるなら、それは神の御言葉です。それは意味深ですね。神は約束を破ることはおできなりません。主はあなたに約束の御言葉を与えられました。

「わたしはあなたにこれを約束しました。」「ローマ人への手紙」8章28節にあるような有名な約束です。「神を愛する人たち、すなわち、神のご計画にしたがって召された人たちのためには、すべてのことがともに働いて益となること（わたしはあなたに約束します。）を、私たちは知っています。」（ローマ 8：28）それが約束です。それが約束です。3000を超える約束のうちの1つです。しかし、「不信仰」のためにそのような約束に入れない人がどれほどいますか？ それが12人中10人にまさに起こりました。彼らはこの悪い報告を持ち帰り恐怖を広めました。12人のうち2人：ヨシュアとカレブ以外。再度、何が起こったかを説明し描写するのを許してください。ヨシュアとカレブが10人の仲間にこのように言いました。

「君らは、何を言っているんだ？神が与えられたんだ。私たちはできる！ 奴らを打ち勝てる。」（民数記 13：30参照）

しかし、遅すぎました。彼らはすでに恐怖を広め、その恐怖でイスラエルの民を麻痺させました。今や、彼らは何をするのか？ 彼らがいづもすること、得意なことをし始めます。それは、モーセに不平を言うこと。神に対してです。モーセに起こったのは連帯責任です。彼らはぶつぶつ言い始め、また同じことを繰り返します。想像するのは難しいですけど、彼らに厳しくなりすぎないように、私たちもまったく同じことをしたでしょう。私たちがいつもしたいのは、ヨシュアとカレブの光を自分たちに当てること。「うん、私はヨシュアみたいになった。」いいえ、なってません。他の10人と同じだったでしょう。「いやだ～！ モーよ、私たちは行かな～い！」ごめんなさい。彼らは不平を言って、再度言います。「エジプトには十分な墓がなかったのか？ エジプトには十分な墓がなかったから、神は私たちを殺すためにここカデシュ・バルネアに連れてこなければならなかったのか？」わお！ 民は、本当にそう言ったんですか？ またしても？ は

い。それで、神はモーセに現れられました。これは本当に興味深いです。「民数記」14章の冒頭です。神は仰います。「モーよ、この民とはもう終わりだ。おしまいだ。終了だ。わたしはイスラエルの12部族を取り、その12部族から偉大な国家を造るつもりだったからだ。モーセよ、今、わたしは、彼らの不信仰ゆえに、彼らからそれを取り上げ、あなたに与え、あなたから偉大な国家を造る。」

私が考えるのは、私がモーセなら、「ええ、私にとっていい感じ。そうしましょう。待ってください。彼らの代わりに私にすべてを譲渡していただけるのですか？ 私から偉大な国家を造られるのですか？」しかし、それはモーセがしたことではありません。それが神がモーセのような人にしか、これを与えられなかった理由です。モーセがそれを受け取らないのをご存知だからです。これが神が私にこれを与えられない理由で、私がそれに応じることをご存知だからです。「はい。どこにサインすればいいですか？」と。代わりにモーセは何をしたのか？ モーセは言います。「神よ、そんなことはおできになりません。いえ、私は、、、ありがとうございます。でも、いいえ。理由はあなたがそれをされるなら、

これが起こります。：エジプトとすべての国々が、イスラエルの神は彼らを約束の地に導き入れられなかったと言います。それは、あなたの名が辱められ、基本的に不評となります。(民数記 14：15～16参照)

彼らの神としてあなたの御名が不名誉になります。あなたが彼らに約束された約束の地に、彼らを導き入れられなかったからです。約束の地＝彼らに約束された。ですから、あなたは、、、、どうにかして彼らをそこに導き入れねばなりません。」すると神はこのように、「よし、こうしよう。不平を言い、恐れ、不信仰のうちにわたしの言葉を受け入れない者は皆、、、ごめんなさい。きつい言い方だったかもしれませんが。もっとましな言い方があると思いますけど、しかし、あなたたちはそこで死ぬ。約束の地を見ることはない。約束の地には入れない。ヨシュアとカレブだけが約束の地に入る。」

なぜ？ 彼らは信じていたからです。その信仰によって、彼らは入りました。「不信仰のままでは、約束の地に入ることはできない。しかし、あなたたちがわたしに不平を言っていたのは、あなたたちの子供たちのことだね？」「子供たちはどうなるんですか？ 私たちは彼らを確実に死に追いやります。」「いや、そんなことはない。あなたたちは自分自身を死に追いやった。あなたたちの子供たちは約束の地に連れて行く。それいかが？」いえ、そんな言い方じゃありませんけど、言いたいことはわかりますね？ 彼らの不信仰が約束の地を犠牲にしました。もう寸前なのに、まだ遠かったのです。もう一つの描写があります。皆さん、私の描写に大変寛大です。H-3(高速道路)のトンネルを車で通るときに考えるんです。その壮さ、息をのむような美しい湾、コーラウを目の当たりにします。それが「約束の地」だとしましょう。トンネルを抜けると、神があなたを路肩に止めさせます。警告灯が点灯したとき、タイヤに空気を入れなかったからです。－(笑)－私の方法が気に入りました？ で、あなたは止められ、神を信じず、「約束の地」にたどり着けなくなり、それがこのことの描写です。彼らはそれを見ました。すぐそこです。彼らはH-3トンネルから出てきたばかりでしたが、しかし、彼らは入れませんでした。なぜ？ 不信仰ゆえに。不信仰が、クリスチャンである私たちにもたらす脅威は、決して過小評価できません。これは大きなこと。これは大きな脅威です。つまり、この不信仰こそが、彼らの命に対して最大の脅威となっただけでなく、それは彼らの命と、彼らの命への神の約束を犠牲にしました。

質問： 私はどんな約束を受け取っていないのか？ 私は神の約束を縄で縛っているから。神の約束の御手を、私の不信仰の縄で縛っているから。考えただけでもぞっとします。何のために神を信じなかったのか？ 必要なら、ひっくり返してみてください。私が神を信じたのは何のためか？ そんな突拍子もない約束に。そう、巨人たちは大変背が高く、私たちは彼らにとってバツミたいです。しかし、神は、神は私に約束されました。ですから、私はそれをして、その約束を受けます。私は約束に入ります。神を信じるだけです。つまり、まったく意味不明で、特攻隊のようなのは確かです。しかし、神が私に約束されたなら、神は約束反故はおできになりません。だから？ 私は信じます。神が神の民の心を聞かれご覧になるとき、不信仰ではなく、信じる心/信仰を持っていれば、「よっしゃ～！（約束の地に）入りなさい。」そして彼らは（約束の地に）入りました。「その通り、彼らは（約束の地に）入ったのをわたしは大変喜ぶ。」不信仰でそうしなかった人たちはどうなりましたか？ 私たちの何人が、未だにカデシュ・バルネアのクリスチャン生活を送っているのか。神の約束に入れたい、不信仰の生活を送っているか。私は今、大変罪の示しがあります。これ以上良くはなりません。

2つ目は6節で、「反逆/反抗」だからです。これは難しいです。多くの聖書教師や注解者の間で論争には事欠きません。「聖書預言・アップデート」でこのことを話しました。「創世記」6章にある、神に反逆した墮天使たちに関する記述に基づくからです。彼らは普通の御使いではありませんでした。それほど邪悪でした。彼らの反逆は非常に邪悪であったため、裁きの日までしばられ、拘束されねばなりません。神の御前で、神から与えられた権威ある地位、最初の領分と配置を捨てました。彼らは墮天使で、御使いの3分の1が、ルシファーが反逆して天国から追放されたときに一緒に行きました。しかし、この御使いたちには特別な何かがあり、あまりにも邪悪だったので、永遠の鎖でつながれ、裁きの日のために拘束されねばならなかったからです。それがいつだかわかりますか？7年の患難時代です。ですから、神がユダを導かれこの手紙を書かされた方法と警告は、見逃すべきではありません。それを手に入れたのに、それに反逆したと表現されているからです。かつて神の御前にいたのにもかかわらず、自らの意志と反逆によって神の御前を離れ、墮落に至りました。「反逆/反抗」は、、、「不信仰」のように、極めて深刻です。これほど顕著である必要はないかもしれませんが、しかし、再度、これは私たちへの例であり、私たちが心に反逆/反抗の態度がある場合に何が起こり得るかという警告です。私たちは神に反逆/反抗します。それは非常に巧妙です。それはこのように見えます。神が与えられたものを拒絶し、反逆/反抗し、受け入れないこと。あなたは反逆/反抗し、神に背を向け、神のご臨在から離れ、自分には正しいとみえる方向に進みますが、それは死に至る道です。その中心にあるのはプライド/驕りです。それは、最初に神に反逆したルシファーに見られ、驕り、反逆を引き起こし、「私は天に上ろう。はるか上に、私の王座を上げる。」(イザヤ 14:13参照)

「私」がする。「私」がする。"PRIDE/プライド"のど真ん中に "I/私"の文字があります。"SIN/罪"のど真ん中に "I/私"の文字があります。"LUCIFER/ルシファー"という名前にさえ、どんぴしゃです。私が、私が、私が、私が、私が、、、でしょ？ もう何十年も、本当に何十年も祈りの日記をつけていて、実は日記と祈りのリストです。とにかく、複雑です。私が複雑だから。時々戻って、自分の祈りのリクエストに目を通したり、自分の祈りの日記を読んだりします。困ったことに、至るところに "I/私" "私が" を見つけます。私は大変罪の示しがありました。主は本当に、、、それは罪の咎め/非難ではなく、罪の示しです。私の祈りには "I/私が" 問題があって "I/私が" を少なくする必要がある感じでした。その祈りは、再度ですが非常に巧妙で、全く神聖でない三位一体についてでした。: 「私を・私自身に・私が。」最初は、祈り方を変えればよいと思うかもしれませんが。あなたが全てではない。"I/私が" と言わない。"I/私が" "I/私が" をそこからどけてください。言うは易く行うは難し。試しました。あまりうまくいきませんでした。ただ、私の祈りの中心には何度も "I/私が" がありました。神がその祈りに応えられなかったのも無理はありません。その "I/私が" が問題でした。それは核であり、問題のど真ん中でした。そう、"I/私が" というのは、私たちの中の反抗的な部分で、"I/私が" を物語る。"あなた"ではなく。私は行くだけ ♪心の決めたままに♪ 今のは、かなりひどかったね。その目つきでわかりましたよ。追加料金なし。だから、構いません。それが "I/私が"。反抗で、反逆です。それはこういう意味です。「神よ、あなたの御方法ではなく、私は私の方法でします。」私たちは神に反抗/反逆します。これが警告灯で、こう言います。警告！警告！警告！十分に注意し、これに注意すること。これをどうにかして、これに留意ください。そうしなければ、それがあなたの終わりになるからです。反逆/反抗に駆られる前に、反逆/反抗を取り除いてください。罪に対して無慈悲でなければなりません。罪は私たちに無慈悲だからです。反逆/反抗が私たちを排除する前に、私たちが反逆/反抗を排除せねばなりません。それは特定の邪悪な墮天使たちと関係し、多くの人が信じる、「創世記6章」のネフィリムです。できるだけ早くこの3つ目に取りかかりましょう。再度、罪の示しはなくなりません。当然です。7節、「不道徳」ですから、私たちは「不信仰」についてを、カデシュ・バルネアでのイスラエルの民の例で

学びました。「反逆/反抗」を「創世記6章」の墮天使たち、ネフィリムの例で学びました。今度は、ソドムとゴモラの例で「不道徳」を学びます。「おお、いえ、あなたは書かなかった。」「おお、はい、私は書きました。」ユダが言います。ノ〜！ ソドムとゴモラと聞いただけで、性的倒錯や性的不道徳を連想してしまうからです。実際、これがまさに理由で、ユダは聖霊によって導かれ、他の例と共にロトの時代という特別な例を選びました。「聖書預言・アップデート」は「ユダ書」と並行しているため、「聖書預言・アップデート」でもこの話をしました。おお、ところで、補足的に言わせてください。これは大変刺激的です。ですから、ご存知、「ユダ書」に時間をかけています。(次の)木曜日の夜は、私たちが「エゼキエル書40章」から始め、「エゼキエル書」を読み進めます。48章あります。残り8章で、「エゼキエル書」は終わりです。今のペースだと、「ユダ書」はたぶん48週間かかります。しかし、とにかく...。が、これに注目。これについて考

えていました。実に主に感謝します。「ユダ書」の後は何が来るかご存知ですね？「(ヨハネの) 黙示録」です。「エゼキエル書」の後は何が来るかご存知ですね？「ダニエル書」です。いえ、聞いてください。なんてかっこいいんでしょう。私たちは可能、、私はそんなに賢くないし、タイミングを計れません。しかし神は、大変賢いお方で、「ユダ書」が終わり「エゼキエル書」が終わり、「ダニエル書」と「ヨハネの黙示録」に同時に入るようなタイミングを計られるのは、神らしいと思います。待ちきれません。何が起こるかわかりますかね？私は第一礼拝でこう話しました。「ユダ書」が終わり、カデシュ・バルネアのように、私たちはそこにおいて、H-3（高速道路）トンネルを抜けます。私たちは「エゼキエル書」を終え、「ユダ書」を終えます。ここで「(ヨハネの) 黙示録」、ここで「ダニエル書」、で、携挙が起こります。つまり、OK。しかし、わお！私たちはそれを受け取りますよ。でしょ？しかし、そうされるのが神らしくないですか？

「はい。いや、はいはい。どうぞ。さあ、いよいよです。！」とにかく、それが私の考えです。臨床名があるのは分かっています。すでに進行中の説教に戻りましょう。私たちは今、ソドムとゴモラの3番目の例、ロトの時代を見えています。どうなったか覚えていますか？OK。もう一度だけ、ごく簡単に裏話を説明します。ソドムとゴモラにはロトとその家族がいて、神は裁きの火と硫黄が降る前に、彼らを連れ出すために御使いを遣わされました。留意ください。これは患難時代前携挙の型です。これが話の行き先です。ロトとその家族が連れ出されるまでは、火と硫黄は降りませんでした。それは緊急事態でした。実際、この話はかなり詳細に描かれていて、ロトはためらい、渋り、こう言ったと言われているからです。「あの、何を急いでいるんですか？お入りください。お泊りください。彼らのことは気にせずに。彼らは大変倒錯しています。」それについては触れません。「でもね、その...」御使いはこう言います。「ダメ！今すぐここから出なさい！今すぐ！」この話には、ロトを連れ出すために力づくで彼の手を掴んだという詳細が実際に書かれています。(創世記 19：16参照)

「何が緊急なんですか？」「あなたを連れ出すまでは、裁きを下すことはできないからです。」私たちもまた、7年間の患難時代の神の裁きは、私たちが上るまで下ることはありません。私は叫んでますか？神がこう無理強いされないことを願います。「さあ！行きなさい！」携挙が起こる時、ロトにされたように、私の腕を掴まれるなんて。私はためらいません。私はこんな感じで、「よし！めっちゃ待ったわ。行きましょう！」

私たちが行くまでは、裁きは来ないからです。それがここで起きていたこと。神の裁きがまさに下ろうとしていました。なぜ神の裁きが下ろうとしていたのか？彼らの奔放な邪悪さ、想像を絶する性的不道徳と倒錯ゆえに。しかし、興味深いのはここからです。裁きに至ったのは、実は性的不道徳がおもな原因ではなかったと言ったら？性的不道徳に招いたことが裁きに至りました。どういう意味ですか？ええ、、彼らは繁栄していて、それは非常に危険になり得ます。再び、繁栄することは悪いことではありません。問題は、繁栄があなたを所有した時です。あなたが所有する何かではありません。何があなたを所有するかです。が、彼らは大変裕福で、非常に繁栄していました。大変な繁栄は非常に危険となり得ます。それが1番の問題でした。問題2番 実際、1番の問題はプライド/驕りでした。その繁栄の結果として生じました。それが彼らの自惚れでした。それが、彼らに來ただけでなく、彼らを捕らえました。彼らは高慢になりました。彼らは莫大な繁栄を手にし、安逸を貪りました。これから見ます。昔からよく言われること：暇人の手許は悪魔の仕事場。(意味：何もしていないと、ろくなことをしない。)それは事実であるだけでなく、繁栄がしばしば危険である理由でもあります。「エゼキエル書」16章に注目ください。48節から読み始めます。私はここで、ある種の舞台設定をせねばなりません。特に初めて読むときは、本当に読み難いからです。理解ください。神は預言者エゼキエルを通して、神の民であるユダ族に、まもなく來たる裁きを宣言します。神は彼らをその妹のソドムと比較されます。神はユダ族を比較されるだけでなく—これが神の民エルサレムです。—神は彼らをソドムと比較されるだけでなく、神は彼らに宣言されます。「あなたがたのしたことはソドムよりも悪い。」それは悪いです。ソドムのしたことは本当に悪いことだったからです。「私たちは彼らがしたことより、もっと悪いのですか？それは本当に、本当に悪いです。」それが48節の設定でした。

#### —エゼキエル 16：48—

わたしは生きている—神である主のことば—。あなたの妹ソドムとその娘たちさえ、あなたと、あなたの娘たちがしたほどのことを決してしなかった。

ユダ族よ。エルサレムよ。イスラエルよ。

だが、あなたの妹ソドムの咎はこのようだった。彼女とその娘たちは...

これに注目ください。神が預言者エゼキエルを通してのご宣言で、エゼキエルが最初に言及するのは彼らの性的倒錯だと考えるだろうからです。しかし、そうではありません。では、何が咎だったのか？ 神の裁きをもたらしたのは何か？ 神の裁きをもたらした罪とは何か？ こちら続きです。

...高慢で、飽食で、安逸を貪り、乏しい人や貧しい人に援助をしなかった。

イエスが仰った貧しい人々を顧みません。「貧しい人々は、いつもあなたがたと一緒にいます。」(マルコ 14 : 7 参照)。

彼らは働く必要がないほどお金を持ち、安逸を貪りました。「いや、それをするために人々にお金を払っている。私たちはただくつろいで宴会を開き、ただ酔っばらって、大酒飲みで大食漢、これだけの食べ物があって、これだけの繁栄と時間がある。」

怠けている。安逸を貪る？ つまり、安逸だけでも、、、つまり、今私にはそれがいいように聞こえます。それはどんなものなのか？ 週7日、1日10時間、12時間、14時間働く時、、、安逸な時間？ 彼らにそんな時間がまだあるの？ しかし、これは安逸を貪ること。それは、彼らのプライド/驕りの結果でした。この経過をご覧ください。だから、彼らは大変太っていて、、最近、気をつけた方がいいですね。いいえ、ヤコブが言います。あなたがたは屠られるために太らせた。(ヤコブ 5 : 5 参照)

どうぞ。いいえ、それは、、、聞いてください。ベレア人になってください。自分で聖書を調べてください。裁きの日のために自分を太らせています。この人たちは太っていて不法でした。貧しい人や困っている人を顧みません。彼らは非常に傲慢で、高慢だったと語られています。再度、「聖書預言・アップデート」でもその話をしました。その言葉は密接に関係していますが、厳密には同義語です。：高ぶり/高慢、傲慢、プライド/驕り。その言葉は密接な関係にあります。同居人だと思いますが、部屋は違います。実際、その方がいい描写だと思います。皆一緒に住み、一緒に居住してはいますが、性質が違う。そう、それは語弊で、第一礼拝を明確にできることを願います。墮落の前に来るのがプライド/驕りではありません。

「高慢は破滅に先立ち、高ぶった霊は挫折に先立つ。」(箴言 16 : 18)

そこに区切りがあるのがわかりますね。その違いは何でしたか？ それは単なる意味や言葉遊びではない？

いいえ、そうではありません。「箴言 21 章」だと思いますが、この「箴言」がそれを解き明かします。「高ぶる目とおごる心。...」(箴言 21 : 4 参照)

高ぶり/高慢は、プライド/驕りとは異なり、他人を劣っていると見下します。彼らは見下し、高ぶり/高慢はさげすんだ目で見る。田舎者/貧乏人め！ やりすぎです？ イメージ掴めてますか？ この描写はやめるべき？ 大変恐ろしいから。しかし、それが彼らの高ぶり/高慢な霊です。その高ぶり/高慢がプライド/驕りで心を満たします。その関係がわかりますか？ だから、傲慢と密接な関係があります。優越感が高ぶり/高慢の霊です。それはプライド/驕りを煽り、プライド/驕りは破滅へと導きます。確かに、ソドムは神の裁きの火と硫黄で滅びを受けました。これは、壊せない原理の1つで、それがあなたを壊します。これに立ち向かって、勝ち目はありません。私が好きなのは誰かの描写です。なぜそれほどいいのか。私の描写じゃないです。これは免責事項で、これがおそらくあなたが感謝する理由です。思いつかなかった？ いえ、それなら、よくなります。聞いてください。こうです。ここにオーシャンライナー、大きくて巨大な船があって、船長は明かりが近づいてくるのに気づき、無線で伝えます。「進路を変えなさい。私たちは衝突するコースを進んでいる。私はキャプテンの誰それだ。私が誰だか知らないのか？」「いや、あなたが誰だか知りません。彼が誰だか知ってる？ いや、彼は自分が誰それだと思っている。私は知らない。」私はキャプテンだ。コースを変えろ” だって。」その応答です。「できません。あなたがコースを変更してください。」「おお、まあ、今、試合開始だ。こうしてやる。」キャプテン再び登場。「我々は、実績ある大きな船だ。私はこの大きな船のキャプテンだ。コースを変えなさい。」それに対して応答です。「できません。私はコースを変えません。あなたが変えなさい。なぜかわかりますか？私は灯台です。」「OK。コースを変えます。」それ



が神の原理です。神の原理には逆らえません。あなたがそれらを壊すのではなく、それらがあなたを壊すのです。それは灯台です。コースを変えなさい。コース/進路を変え、進むべき道へ。私の描写じゃないから、良いと言ったでしょ。しかし、彼らは高ぶり/高慢でした。これを聞いてください。もう終わります。ご辛抱ください。「彼女たちは高ぶって、わたしの前で忌み嫌うべきことをした」(エゼキエル 16:50 参照) 逆から考えてもいいですか? ご辛抱ください。「忌み嫌うべきこと」は、高ぶり/高慢と関係し、それは貧しい人々や困っている人々を無視することと関係し、それは、彼らの安逸を貪ることと関係し、それは、彼らの飽食と関係し、それは、彼らのプライド/驕りと繁栄と関係しました。それがどう作用するかわかりますか? 性的倒錯についての言及が一切ないことにお気づきですか? それは結果であって、源/原因ではありません。源/原因はこのリストのすべてで、それが、クリスチャンの人生にとって深刻な脅威となる不道徳を生み出します。何がそうさせるのか、その源は何なのかを知ること、その原因は何なのか? それを取り囲むすべての層を剥がすこと。そして、もうひとつの描写です。不本意ですが、実は私ではありません。誰かから盗みましましたので、きっとまた良いです。頭痛のときに鎮痛剤を飲みますね? 薬瓶の注意書きを読んだことがありますか? "一時的な緩和" 一時的? いや、永久に続いてほしい。いや、ただ、一時的に緩和されるだけ。そのため、6時間ごとに服用し続けねばなりません。症状を一時的に緩和しているだけ。問題にまったく対処していません。頭痛の種を引き起こしている原因を突き止めましょうよ。頭痛が再発し続けるのだから、何か他のことが起こっているに違いない。これは意味深なのはわかりますけど、一時的な痛みを和らげるために薬を飲むことは、一時的な痛みの緩和が必要な痛みの原因を取り除けば、解消されるはず。つまり、その原因に対処し、それを取り除ければ、頭痛とはバイバイできるということ。それって公正ですか? 深刻な腫瘍だとわかったら? その腫瘍が頭痛を引き起こしているのに、一時的な緩和を提供し、症状に対処しているだけ? 違います。根底にある核の問題を解決せねばなりません。核/根底の問題は何か? 不道徳はプライド/驕りの問題の症状に過ぎません。もう一度言います。性的不道徳、それは外見上の症状に過ぎませんが、それが現れるのは、核/根底の問題が心にあるからです。本当にそれについて考えるなら、具体的に言うと、性的な罪となると、ここは適切でありたいのですが、あえて言えば、ポルノは、その核/根底は何かわかりますか? "I/私" 私はそこから奪う。私は自己中心的で自惚れていて、他人のものを自分自身のものにできる。わかりますか? プライド/驕りです。性的不道徳は、核/根底にある問題の症状です。その問題は放置されたままで、警告灯はつけっぱなしのまま。その警告灯に注意を払っていません。これで試合終了。性的な罪は、自分の体に対して罪を犯しています。主の御前で忌み嫌われるべきことです。しかし、その源は何なのか? その原因は何なのか? その原因は、私たちの心にあるプライド/驕りです。それは"I/私"です。「私」です。偶像崇拜です。私の人生の王座で、正当に主の御座を奪うものは何でも。イエスよりも大切になるものは何でも、誰でも、それは偶像です。最後にもう一度だけ言わせてください。これで締めくくります。私たちが言っていることはこの3つ、「不信仰」、「反逆/反抗」、「不道徳」、送られるメッセージはこうです。私たちが警告に耳を傾けないとき、そしてまた、その結果生じることは、大変不必要で無用です。しかし、その核/根底は、私たちが神に言っているのは、「私はあなたに代わり私の人生の王座に座ります。あなたはもはや私の人生の中心にいるべきお方ではありません。私がする。私がする。」

ですから今や、イエスは中心に、主の正当な位置におられません。主がそこにおられないなら、、、ところで、クリスチャンの結婚生活。イエスが、クリスチャンの結婚生活の中心の正当な地位から置き換えられるなら、私は神の御言葉の権威に基づいて、その結婚が長続きしないことを約束します。これが結婚を支えるからです。キリストを中心に据えること。そう、これが起こること。結婚生活の例を使いましょう。すべてはプライド/驕りでしょ? 夫が妻に。妻が夫に。実話です。ここじゃなく本土でのことです。ここでの例は使いません。感謝なことに、私はもう聖書的な指導はしていません。私にふさわしくないからではありません。ただ、もうする時間がないのです。それが神がここに育て上げられた素晴らしい人々を主が育て上げられた理由です。が、何年も前に本土で、ご夫婦がいて、この人たちを見ていると、こういう感じで、「神よ、私は彼らに何とさえいいたいですか?」つまり、それは聖書的、、、私たちはカウンセリングとは呼びません。離婚寸前のこの夫婦のために聖書の指導でした。5分もしないうちに、その理由がわかりました。つまり、2人とも、、、「まあ、あなたは、、、」ところで、夫よ、妻よ、聞いてください。この2つの言葉をあなたから外してください。「いつも」と「絶対/決して」です。あなたは「いつも」あ〜だこ〜だあ〜だこ〜だ。あなたは「絶対/決して」あ〜だこ〜だあ〜だこ〜だ。言いますが、この言葉を使うと、、、これは引き金となる言葉と呼びます。

喧嘩を引き起こす言葉です。そして腕まくりをする。

「あなたがたの間の戦いや争いは、どこから出て来るのでしょうか。」(ヤコブ 4 : 1 参照)

ヤコブが聞きます。プライド/驕りです。ここで夫が妻に。ここで妻が夫に。私はこんな感じで、「神よ、私に知恵をお与えください。まず私はこれに耐えられません。これは本当に嘆かわしいことです。私は神の恵みによって与りました。私が素晴らしい夫だからじゃなく、私は、夫が望むような最も素晴らしい妻と大変恵まれた結婚生活を与りました。ですから、私にとっては本当に辛く、ご夫婦の前で言うんですが、ありがたいことに、私はこの杯から味わったことはありません。ですから、私は適切ではないかもしれません。」

そこから抜け出そうとしています。「離婚寸前の結婚生活について聖書の指導を求めるには、私は適切ではないかもしれません。」しかし、これは聖霊の瞬間でした。私は彼らを見て、次のように言いました。:「イエスと互いの前にへりくだらなければ、(結婚生活は) 続きません。」彼らは私をこう見て、おそらくこれが私がもう結婚の聖書の指導をしない理由です。彼らはこんな感じで、「おお、そうだ! 自分が? 彼女はどんなんだ?」「私? 彼はどうなの?」それは、鍋がやかんを黒いと言う! (五十歩百歩) 違う。やめてください! 真摯に質問してもいいですか? 夫として、妻として、夫婦として、あなたがへりくだっている時に喧嘩や口論はありましたか? 「あのね、ハニー、ごめんなさい。許して。」「私の夫に何をしたんですか? あなたは誰? 詐欺師。いや、待って。何、、、何、、、何をしているんですか? 待って。いや、いや、いや、いや、いや、いや、待って。何? ごめんなさいって? 今、英語で最も難しい3つの言葉を口にした? わ、わ、わ、私は間違っていました。私は間違っていました。あなたが間違っていた? 私に許して欲しいのですか? へりくだっているのですか? ちょっと待って。私に従うの?」

はい、「エペソ人への手紙」5章21節は「エペソ人への手紙」5章22節の前にあるから。調べて下さい。

夫たちの聖書には「エペソ人への手紙」5章21節がありません。それを削除したんだと思います。夫よ、妻よ、主に従うように「互いに従い合いなさい。」(エペソ 5 : 21 参照) と書いてあるから。そして、「妻よ、夫に従いなさい。」(エペソ 5 : 22 参照) とあります。夫たちはこんな感じで、「ああ、いや、21節は忘れて、22節だ。妻よ、(夫) 自分に従いなさい。」聞いて下さい。夫の皆さん、時間を節約して、私の失敗から学んでください。それを証明する傷跡があります。それはうまくいきません。それは神が設計されたご方法ではないからです。だから謙虚になって、こう言うのです。

「あのね、ハニー、君が正しい。僕が間違っていた。許して。」結局、私が不当に扱われたわけではなく、私が不当に扱った。私があなたに赦しを願うのは、私は神の赦しを多く受けてきたからです。赦された者は多くを愛します。それは完全に拡散します。そして突然、彼女はこう言いました。

「いえ、私もごめんなさい。私が間違っていたわ。」そして今度は、どちらがもっと謝まるか、間違っているかで争うこととなります。実際に1度、そういうことがありました。はい、それは私が勝ちました。いや、彼女は基本的にこう言いました。「あなたより先に十字架に行ってあなたのことを告げ口してやる!」私はこう言いました。「いや、ダメダメ!」彼女は大変負けず嫌いですから。ですから、私はそんな感じで、、、とにかく、それはまったく別の話です。なぜその話に行ったんだろう? 今すぐ締めくくるところで。カポノ、上がってきて下さい。締めくくらねば。ご起立ください。締めくくります。

天のお父様、どうか、聖霊によって上からの知恵をお与えください。問題の核/根底に辿り着くために、手遅れになる前に脅威を取り除くために。私たちは、警告に耳を傾けず、脅威に対処しなかった結果、不必要な苦しみを味わってしまいます。主よ、私たちは3つを見ただけですが、まだたくさんあります。が、その核/根底は「I/私が」の問題です。「私」「プライド/驕り」であり、自己に死に十字架を背負わず、あなたに従うことを拒む自分、おお、屈服を拒む我意が神になってしまいます。

「I/私」が「C/キリスト」になり、I/私“は曲がる/屈服するとCになります。主よ、“C”はあなた、キリストです。ヘビは踏まれるとヒスを起こして反撃しますが、反対にミミズは踏まれると潰れます。主よ、もっと砕かれる必要があるのは、私たちのプライド/驕り、我意、私たち全員にある強い意志です。おお、主よ、私たちを砕いてください。おお、主よ、私たちをあなたのようにしてください。おお、主よ、イエスの御名によって祈ります。アーメン。

---

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii 筆記 hukuinn7